



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 315
June
2019

トピックス

国際会議への参加

グローバル・プラットフォーム2019

●国際会議への参加

グローバル・プラットフォーム2019

第6回防災グローバル・プラットフォームが、スイスのジュネーブにおいて、5月13日から17日の5日間開催されました。防災グローバル・プラットフォームは、各国政府、国際機関、地域機関、学術研究機関、市民社会、民間セクター、防災関係者などが一堂に会する機会として国連総会決議により設置され、2007年以降隔年で開催されてきています。

第6回目となる今回の会議は、UNDRR（国連防災機関）とスイス政府などの共催により開催されました。会合では多様なイベントやセッションが開催され、約182カ国から多くの参加者が出席し、ADRCからは鈴木所長、塩見研究員、池田研究員が出席しました。



開会式の様子

1. GLIDE会議

20年近くにわたりGLIDEに協力してきた機関が一堂に会した会議を開催しました。これは、現状の問題点と今後の刷新について意見交換することを目的としたものです。ADRC、Julio氏、UNOCHA/ReliefWeb、IDMC、JAXA、東北大より15名が参加しました。現在の利用状況の把握、今後の刷新に向けたSteering Committeeの立ち上げの必要性等について意見が上がり、今後引き続き議論を行うことに合意され、今後の刷新に向けた第一歩となる場となりました。

2. メンバー国各国との個別会合

アジア防災センターは、現在アジア地域におけるメンバー国31か国において、各国の防災担当機関等と連携して防災に係るプロジェクト等を実施しています。グローバル・プラットフォームにおきましては、各国のメンバー国のカウンターパートも多く参加していて、今後の具体的な取組等の協議を確認することを目的に、個別会合を行いました。具体的には、タジキスタンの非常事態省と宇宙技術を用いた早期警報プラットフォームの整備について内容を確認しました。モルディブの防災担当機関とは、GISや

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

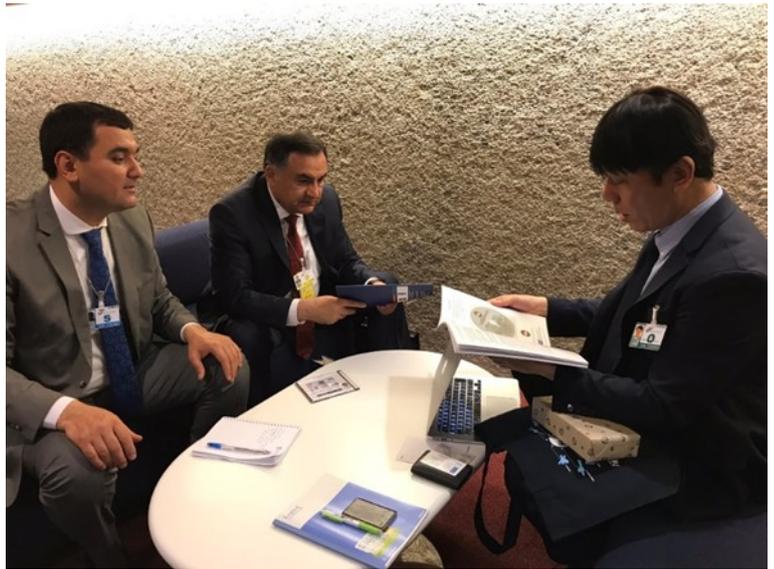
続き

リモートセンシングを活用した人材育成の取り組みについて相談をしました。キルギスとは、日本で開催が予定されている防災教育に係るトレーニングについて確認が行われました。また、昨年新たにメンバーとなったトルコとは、首相府災害危機管理庁（AFAD）と今後の具体的な協力について話し合いを行いました。このほか、アルメニアとは、首都エレバン中心部で計画されている地震工学分野の事業について情報交換及び支援について話し合いを行いました。

3. オフィシャルステートメント

最終日の5月17日は、各機関の公式展望（オフィシャルステートメント）の発表の場が設けられ、鈴木所長からアジア防災センターの活動方針について発表が行われました。内容の一部としては、近年特にASEAN地域において災害発生と被害拡大が顕著になっていて、BCP/BCMや防災投資などに関する研究事業に取り組んでいることを報告されました。

アジア防災センターとしましては、今回のグローバル・プラットフォームで多くの機関から進捗報告が行われた仙台行動枠組みを更に充実させるべく、31か国のメンバー国と連携して、各種防災に関する取り組みを実施していきます。



タジキスタンとの会合の様子



鈴木所長のオフィシャルステートメント

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。